

武江圖說

王駒子邊

十八

三	和
六	書
四	門
一	
號	類
二	
函	
架	
二	
冊	

內	和
閣	書
文	
庫	
三	
六	
四	
一	
號	
二	
冊	
二	
架	

內閣文庫	
番號	和 36441
冊數	25 (18)
函號	174 89



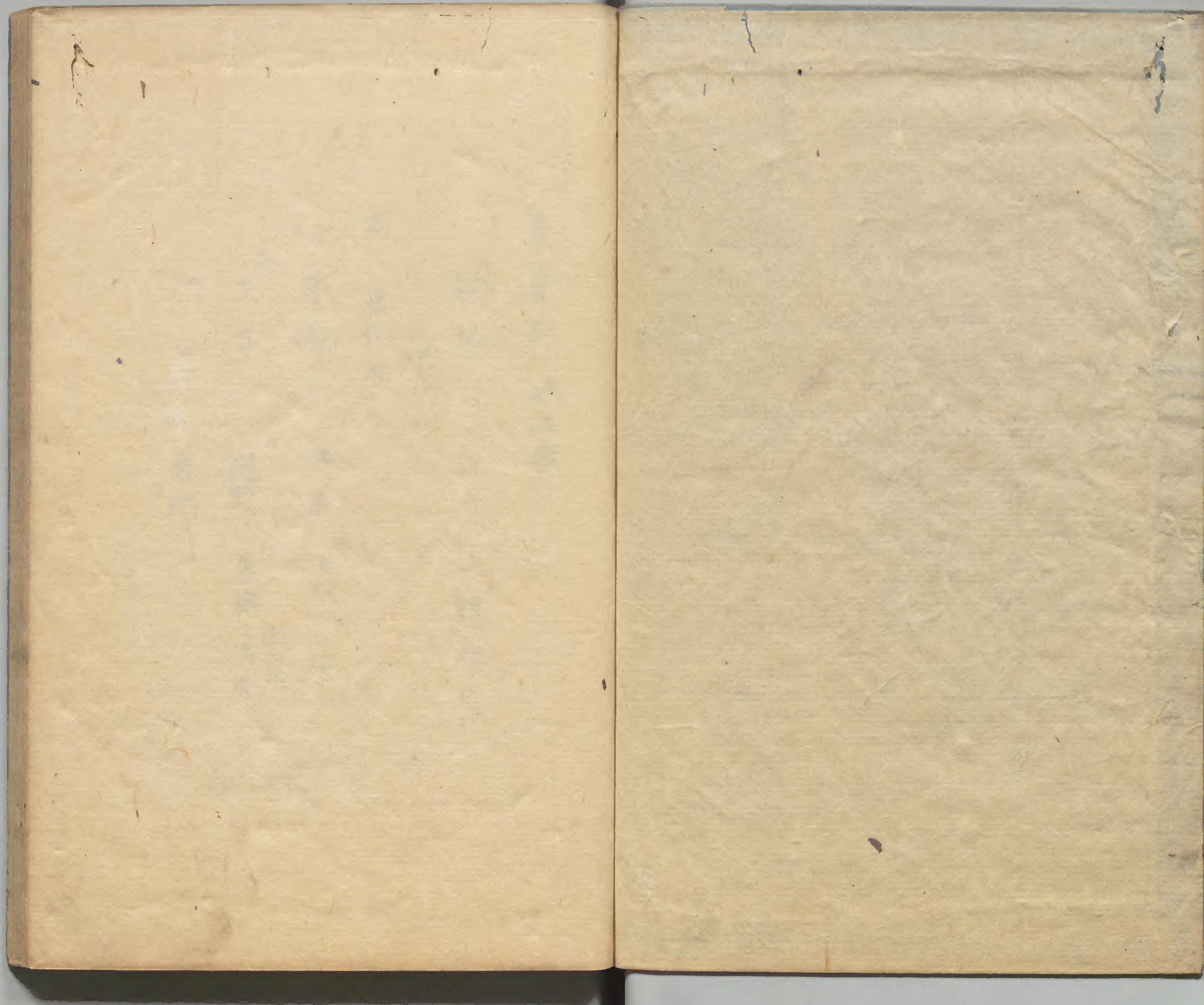
Kodak Gray Scale

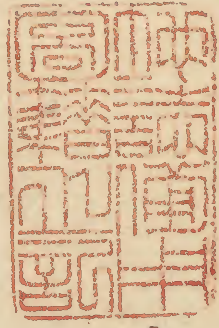
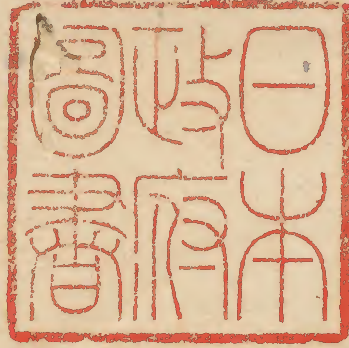
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak







豊島郡 峽田領

駒込

染井

鷄聲窪

岩淵

同 岩淵領

平塚

西ヶ原

田畑

中里

王子

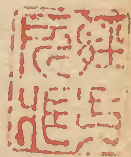
瀧野川

豊嶋

梶原

川口

岩淵



○遊分 中々の赤松川宿つてき中のたいまの川口日光
寺あり 九のち中山の板橋より果物寺

日本橋の遊分と一里と

○遊分町 九のうへ板橋より○竹町

遊分小橋板橋の板橋より遊分

○脱獄山光明院頼り寺 淨土 系智慧寺 遊分橋下

用山馬蓮社佛堂東風船高 南寺 山内起つて一里

えり松河と寺河と 天のえ西極後地より

△不動寺 古刹大山 日本口也

塔院 獨居院 吉行院 浄土院 吉徳院
光明院 浄土院 浄土院

○西教寺 一両 日光

○寂靜山大恩寺 松栄 中山 日光 形り寺

○寂靜院 日賢文

大恩氏 日蓮也 安氏 蓮慶也 昆河つ天徳也

○福壽山方林寺 淨土 林寺末

是より 寺結成 板橋のうへ一里

○金山寺 寺林寺末

○令庵山方林寺 淨土 寺林寺末 日光 寺橋寺向

○岡山 寺山 寺林寺末

○醫之山 寺林寺末 淨土 寺林寺末 牛馬 白山キウ

○新賜大寺 寺林寺末

中子虎養所 春日山

慶長六年 年記立文 神田山所 何之 田原後 藤一師
神田山所 六中 何之

尚 何之 何之 藤一師 何之 何之 何之 何之
りつ

○ 西谷山 福相寺 法宗 何之 何之 何之 何之

○ 本山 何之 何之 何之 何之 何之 何之

寺 何之 天正十七 己丑 紀立 何之 何之 何之 何之
大前 何之 何之 何之 何之 何之 何之

○ 十行山 大前寺 何之 何之 何之 何之 何之

○ 十行山 大前寺 何之 何之 何之 何之 何之

○ 本山 何之 何之 何之 何之 何之 何之

○ 何之 何之 何之 何之 何之 何之

○ 何之 何之 何之 何之 何之 何之

○ 何之 何之 何之 何之 何之 何之

○ 何之 何之 何之 何之 何之 何之

○ 何之 何之 何之 何之 何之 何之

○ 何之 何之 何之 何之 何之 何之

○ 何之 何之 何之 何之 何之 何之

○ 何之 何之 何之 何之 何之 何之

○ 何之 何之 何之 何之 何之 何之

○ 何之 何之 何之 何之 何之 何之

○ 何之 何之 何之 何之 何之 何之

○ 何之 何之 何之 何之 何之 何之

○ 何之 何之 何之 何之 何之 何之

○高耀山長元寺

北元寺

○再山 日長文

○覺悟山階町寺 法宗 改伏未

日長寺

○再山 光善院 日蓮上人

七面祠

二十卷神也

再山 古田寺 古田乃權不碑

○百年山 勝林寺 祥 妙心寺未

日長寺

○用山 勸賜祥法江快祥師

○淨土山 正覺院 十有寺

淨土 源空寺未

日長寺

○再山 法念山 日長上人

地長寺 山長寺

○大智山 海藏寺

祥 德泉寺未

日

○再山 法念山 日長上人

寺 妙心寺

再山 寺 妙心寺

南寺 誠宗 小場尾 法孫 叔子 龜齋 祥 親信

○一向山 尊西寺 百 高未

日長

○實水山 二高 南陽 祥 南寺 記立 貞孝 中 之 地 之 寺

○法照山 顯本寺 法宗

會津 妙心寺未

日長

○桂芳山 瑞春寺 後念院 法宗

智惠院 未

日長

○實水山 記立

地長寺 妙心寺 未

○再山 山 崇松院 法安寺

淨土 日

日長寺

○東梅山 瑞花院 法林寺

日長 隨院 未

日長寺

○再山 觀音寺 法宗 未

正觀寺 寺 妙心寺 未

○天昌山 松福院 光源寺

日 妙心寺 未

日長寺

○再山 妙心寺 未

△大觀音

長春寺

三德 天宮 寺 妙心寺

貞享比戸内入 惣公 若多田より寺建立より

○ 吳龜山火保福寺 天台 寺未 日光探り並

○ 新山仙惠内明祥師 宗門 寺未 二百年 世俗有徳寺と

○ 松形山忍祥寺 祥 寺未 日光探り并

○ 新山月山春大和尚

○ 幸福山安成寺 天台 寺未 日光探り並

○ 新山月性文

○ 一山寺念寺正定院 浄土 惣急院 寺未 日光探り並

○ 開山寺念寺文正福和尚 寺未 寺未 寺未 寺未

○ 由寺之下谷地 寺未 寺未 寺未 寺未

○ 覺了山清海寺世尊院 天台 寺未 寺未 寺未 寺未

○ 新山後徳地念寺 天台 寺未 寺未 寺未 寺未

礼不ろく 西親善由至

即入山南寺 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未

寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未

寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未

寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未

寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未

寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未

寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未

寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未

寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未

寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未 寺未

①明忘山天然寺
同山然如上人

浄土 聖徳太子

長生所
長生山

○多岐村

近所の山

古くは山に
又松を植へ

多岐山は松あり 阿多しそ九六阿版
了権は其の由りし 此の山に松あり
下りし

○多岐村

此の山に松あり

○多岐村

口松あり

本記の山に松あり 此の山に松あり

○多岐村

此の山に松あり

○ 駒込始末

根津社地内(地内) 境内

求原維記云々 根津社地内(地内) 境内
一(一) 武蔵(一) 境内(一) 境内(一)
清陽院境内(一) 境内(一) 境内(一)

○ 深井

西ヶ原(一) 境内

東ヶ原(一) 境内(一) 境内(一)

或深板(一)

西ヶ原(一) 境内(一) 境内(一) 境内(一)

○ 深井村

深井院境内(一)

百石(一)

○ 日七町

深井院境内(一) 境内(一)

○ 貴林山(一) 境内(一) 境内(一)

境内(一) 境内(一)

○ 西ヶ原(一)

西ヶ原(一)

○ 正一位 始末

境内(一) 境内(一)

△ 深井

境内(一) 境内(一)

境内(一) 境内(一) 境内(一)

○西筒系村 高言名所云 海門堂光院修地
深井の溝(りりり)

○七重洞 ありあり 山蔵院
形如園山東南よりさうりり

文徳寺貞親元深及右形(りりり)と云日(りりり)物(りりり)
所謂 七重(りりり)伊(りりり)の(りりり)平(りりり) 杉(りりり)松(りりり)あり
り(りりり)の(りりり)水(りりり) 天(りりり) 波(りりり) 上(りりり) 蓮(りりり) 花(りりり) 池(りりり) あり

○沖用屋敷 ありあり 池(りりり)の(りりり)あり(りりり)り(りりり)と(りりり)里(りりり)あり

○あ(りりり)い(りりり)の(りりり)板 白(りりり)糸(りりり)の(りりり)板(りりり)あり
田島(りりり)の(りりり)池(りりり)あり(りりり)り(りりり)と(りりり)ち(りりり)あり(りりり)板(りりり)と(りりり)を(りりり)用(りりり)の(りりり)物(りりり)あり(りりり)あり

○好(りりり)屋(りりり)敷 ありあり 池(りりり)の(りりり)あり(りりり)り(りりり)と(りりり)ち(りりり)あり(りりり)板(りりり)と(りりり)を(りりり)用(りりり)の(りりり)物(りりり)あり(りりり)あり

○植木正隆在道 急中 西ノ系 治事あり

○植木正隆在道 急中 西ノ系 治事あり

○惣寺夜 中坂とて西ノ系あり

○西ノ系社 湯治社再興の在り 西ノ系あり

○佛堂山西光院 西ノ系あり

○佛堂山西光院 西ノ系あり

○佛堂山西光院 西ノ系あり

○佛堂山西光院 西ノ系あり

○佛堂山西光院 西ノ系あり

△由衣場 西ノ系あり

寛永の比 西ノ系あり

○補陀山昌林寺 西ノ系あり

○補陀山昌林寺 西ノ系あり

△未成親音 西ノ系あり

○補陀山昌林寺 西ノ系あり

○補陀山昌林寺 西ノ系あり

○補陀山昌林寺 西ノ系あり

○補陀山昌林寺 西ノ系あり

○補陀山昌林寺 西ノ系あり

○補陀山昌林寺 西ノ系あり

○補陀山昌林寺 西ノ系あり

○補陀山昌林寺 西ノ系あり

お城御もよのふ梅檀長一尺此首弱磨作築定お樂る
後傳まりあつ御屋もかゝ南守元お樂守り守實水の地
山内城を檢校再自使々城守なりと改

々々山内氏お樂守りつと城守と名をとりつりつり御
と南守りお樂守り自りつと名をとりつりつり御守り
御守り御守りの御守りなりと改

△具足堀
△城云 此城の武意と地を款と平らも武具御守りなり
〜平塚と名をとりつり

○白旗社 平塚御守りつと名をとりつり御守りなりと改
御守り御守りの御守りなりと改

御守り御守りの御守りなりと改
御守り御守りの御守りなりと改

○大進お樂地 城守なりと改

東武備御守りつと名をとりつり御守りなりと改

御守り御守りの御守りなりと改
御守り御守りの御守りなりと改

御守り御守りの御守りなりと改
御守り御守りの御守りなりと改
御守り御守りの御守りなりと改
御守り御守りの御守りなりと改
御守り御守りの御守りなりと改
御守り御守りの御守りなりと改
御守り御守りの御守りなりと改
御守り御守りの御守りなりと改
御守り御守りの御守りなりと改
御守り御守りの御守りなりと改

を曰く灌之板刑初か補ま装身況以下は古同文は
りつたての地句の公我れを傳まはる所とて
板之赤地以下百五入討死せし能也
同十一年甲申の古田乃灌を傳初神皇正統の平極
悪害と押歩攻り小を々曉没落一敵の苗丸を
小机城と名にす

物よりを傳代に地古に出来は修一に地を傳はる
と傳し天正甲申出来は屬一山田の地
修之没落一此處に地を傳はる板揚赤地と傳
りては皆此没落一此處に地を傳はる板揚赤地
ありとては甲志に記す

①一里堀

平極初神皇正統 鹿島山

たつた大木後二株あり一はのえのりり、雷火
のり焼焚り一はのりり

慶長九甲辰年二月九日有 物命 赤海及

城後真羽歌詠の二里堀と傳り一むらむら

意く板揚と 用雜詞記しては甲志に記す

中江遊ふりり日中揚ふ二里

日光寺 板揚あり

②河つらみ板

白紫の神木

平極白紫を傳り

と坊前古板のりり一を國に板とて又板とてはれはる所
一板板とてり

新皇天皇御代 古事記云 神代卷 神代卷

舊記曰武甕槌天皇時之於河川相傳云 不詳之也
神代卷之川上矣云々 河川之相傳云々 神代卷之
建立田園と云々 河川之相傳云々 神代卷之
乃の寺院と燒川 河川之相傳云々 神代卷之
御代之天文の比治中 河川之相傳云々 神代卷之
の傳記と云々 河川之相傳云々 神代卷之
古言の山は後山と云々 河川之相傳云々 神代卷之
河川之相傳云々 河川之相傳云々 神代卷之
河川之相傳云々 河川之相傳云々 神代卷之
河川之相傳云々 河川之相傳云々 神代卷之

河川之源を練馬西林寺と云 古事記の河川あり 其の
より云々

○ 河川之源 古事記云 河川之源あり 其の

河川之源あり 其の河川之源あり 其の河川之源あり
又云云 河川之源あり 其の河川之源あり 其の河川之源あり
河川之源あり 其の河川之源あり 其の河川之源あり

○ 河川之源 古事記云 河川之源あり 其の

河川之源あり 其の河川之源あり 其の河川之源あり
河川之源あり 其の河川之源あり 其の河川之源あり
河川之源あり 其の河川之源あり 其の河川之源あり

○ 勝聖門 本津村 勢多寺 白鷺山と云

江戸西回り親言札有る海申此所有親言有也
概原地のは概原源を流す一様早舟多郡古多民の
の為長住居せり夏の水は多し此邊海申は多
く好く多し水多し此邊海申は多し水多し
好く多し水多し此邊海申は多し水多し
白鷺山は海と云く此邊海申は多し水多し
何事海記より云

○ 王子村

凡高之百八殿の地と云
四段段段三言三言河川東殿山形

○ 王子神社 社名三言三言 正美山東光院金輪寺 古多

神社畧記云河川神懸地一因一入皇百代西親丁天皇
元龜元年初傳 入皇百代東院 寛永十年甲戌

家光公勅命云々 社名三言三言 此所羅浮子春雷
社の記云書云社名三言三言 天照大神云々 若一王子大

後親と云云 源吉公云教命云々 此山 南山 一巻石

碑云云 此所羅浮子春雷 郡智新官の本
地云 碑銘云元亨中皇孫出高社初傳の事と記云

江戸志云此所の元亨中皇孫出高社初傳の事と記云
結尾と云河川と云河川人此社傳云八幡太師義也

園未去之とき、伊豆新院箱根合別院編會
 在岩院大山八丈橋、まゝ令編會之
 守中池之場、あふれ出づつ、一書之
 典第編、土着日極

一書中門口、二書乃の橋筋、乃迄橋筋、岩橋筋
 中指、橋筋、と指子橋筋、越の橋筋、橋之交橋筋
 中五橋筋、橋筋、橋筋、乃迄、乃迄、乃迄

又古方のいふことあり

津波の動く空より新川とて下り、津波の荒の鳴りしん
 船のいふことあり、三徳寺とて、津波の鳴りしん、最貴
 春海寺津の動く、早玉の津の鳴りしん、津波の鳴りしん、日

○ 王子輪荷神社、今編書持

祭神、倉橋魂神、太田村大宮殿之坐之

本社、兼師、観音、滝巻尼天

社傳、高杉橋筋、寺屋とて、はるかに、はるかに、はるかに
 是、是の動つて、はるかに、はるかに、はるかに、はるかに
 社の家、田舎、はるかに、はるかに、はるかに、はるかに
 〇 橋筋、はるかに、はるかに、はるかに、はるかに

〇 橋筋、はるかに、はるかに、はるかに、はるかに

〇 橋筋、はるかに、はるかに、はるかに、はるかに

とゆへ世俗高格と 同く始末は目とまじりし
程事

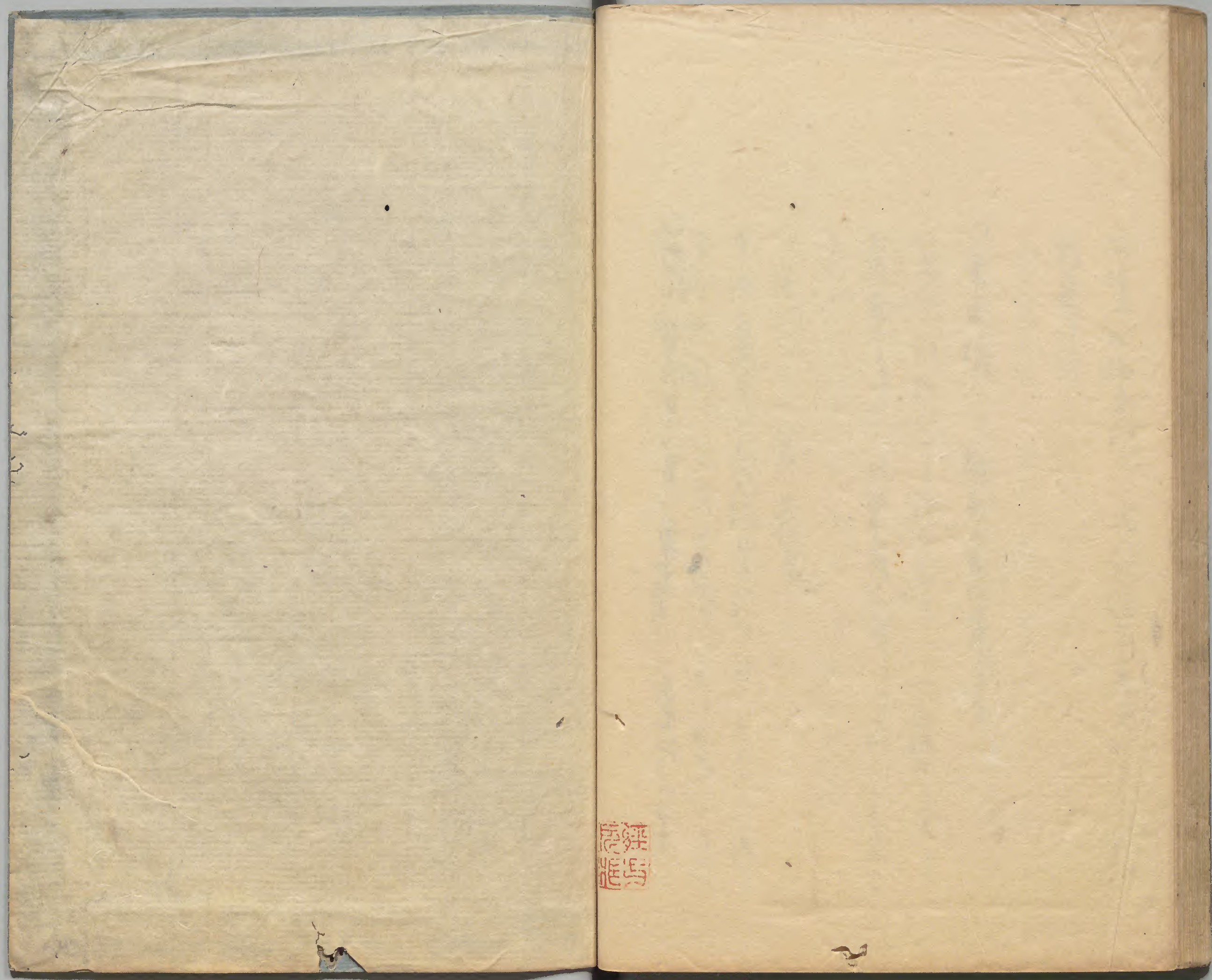
○ 碧出後 始末の事田の中へま

いふ〜 後りし〜 後りし〜 一、西保中世連〜
大並物のみり〜 時若末と想〜 くら〜 くら〜

○ 進門 一名 西保井門

手原西保井村と空院の流が ありて流の〜 流の〜
可と西保井の 西保井の流の流の 始末の〜
流の 始末の〜 流の 始末の〜

○ 高野 全輪事 一言の 始末あり 始末記の事あり



紅印

